学校教育目標　「やる気いっぱい　やさしさいっぱい　元気いっぱい　蒔田っ子」

まいた

令和元年度

５月号

平成31年４月26日

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/

「令和時代」のはじまりも　まずは元気なあいさつから…

校長　太田　正寿

あいさつ運動のリーダー

1年生を迎える会

新学期がスタートして、早１ヶ月が経ちました。1年生は「1年生を迎える会」に参加し、元気でかわいい歌声を披露し、蒔田小学校の仲間入りを果たしました。また、おいしい給食もしっかり食べて、外遊びもできるようになり、活動がどんどん広がっています。

日々成長していく姿を見るたびに、「もう立派な小学生だな」と思います。

さて、私が日頃仕事を行う上で心がけていることの一つに、教職員や子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に対して「声をしっかり出して対応しよう」ということがあります。当たり前のことですがあいさつも含めて、声を出すことで相手とのコミュニケーションが図れると同時に、自分自身のエネルギーを活性化する大きな要因になると考えているからです。

本校でも、朝、門に立っていると蒔田小の子どもたちは、いつも自然体で「おはようございます」とあいさつができます。特に本校は「人権委員会」所属の５･６年と教職員で、年間を通して朝のあいさつ運動を行っています。子どもたち同士の「おはようございます」の連呼は、見ていて微笑ましく、心が和む瞬間でもあります。また、登校中だけでなく、学校のあらゆる場面で気持ちよくあいさつを行っている姿を多々見ることができます。あいさつは、する方もされる方も気持ちいいといいますが、本当にその通りだと実感する日々です。

大人の社会でもそうだと思いますが、あいさつが人間関係構築の第一歩になり、人と人のコミュニケーションは、あいさつから始まると言っても過言ではありません。

ある本に、あいさつは、相手に心を開き、相手を対等で同じ学校・地域に生きる仲間として認め、信頼関係を築いていく大切な一瞬であり、その一瞬の積み重ねが、相手との絆を生んでいく。あいさつは、まわりの人とつながりながら、より良く生きていくための魔法とありました。

本校の年間生活目標も、「あいさつをしよう」です。各学年・各学級、具体目標を立てて取り組み、あいさつすることの大切さを繰り返し指導しながら、よき習慣を身につけ、人と人との仲間意識、信頼関係、絆が深まるよう、全教職員で取り組んでいきたいと思っています。

さて、いよいよ５月１日より「令和時代」が本格的にスタートします。規範意識の低下が叫ばれている中、しつけの基本としてのあいさつを見直し、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいくことが大切であり、まずは大人が率先して、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「お疲れ様です」等のあいさつを励行し、気持ちのよいあいさつが飛び交う、学校・家庭・地域でありたいと願っています。